

加算項目 1 : TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)

概要

TNFDは「自然関連財務情報開示タスクフォース」のことで、企業や金融機関が自然資本や生物多様性に係わるリスクや機会を評価・開示する国際枠組みです。

TNFDに沿った情報開示を行うことで、企業は自然環境への影響を減らし、生物多様性の保全に貢献できるとともに、自然関連リスクを回避し、投資家からの評価や長期的な事業継続性の向上につなげることが可能です。

チェック基準

公に開示をしている財務情報について、評価手法としてLEAPアプローチを採用するなど、**TNFD提言に基づいた開示**をしているか。

認証事業者の取組状況

事業者名	事業者名
旭化成(株)守山製造所	イオンモール(株)イオンモール草津
(株)滋賀銀行	(株)ダイフク滋賀事業所
パナソニック(株)草津拠点	(株)村田製作所八日市事業所

■事業活動による生物多様性への負荷と貢献のイメージ



出典)「生物多様性ハンドブック」(2009,JBIB)を参考に一部加筆

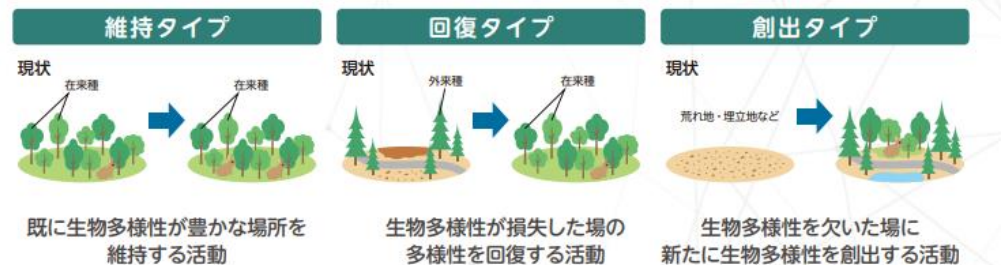
加点点目2：自然共生サイト



概要

民間等による生物多様性保全に資する活動を国が認定する制度で、認定を受けた区域が「OECM」として国際データベースに登録されます。
国際目標である「30by30」目標に貢献し、県内で18サイト、全国で569サイトが認定されています(R8.4時点)。

3つの活動タイプ



認定基準

1. 活動の区域に関する基準
2. 活動の実施体制に関する基準
3. 計画期間に関する基準
4. 活動内容及び実施時期に関する基準
5. 活動の目標に関する基準*
6. 特例に関する基準

出展)環境省作成パンフレット

チェック基準

地域生物多様性増進法に基づく増進活動実施計画について、申請者として主務大臣からの認定を受けているか(法施行前の自然共生サイトの認定を含む)。または、自然共生サイトにおける活動を人的または金銭的に支援し、環境省から「自然共生サイトに係る支援証明書」の発行を受けているか。

認証事業者の取組

事業者名	取組の概要
旭化成(株)守山製造所	「もりビオ」がR7に認定
塩野義製薬(株)油日植物園	「油日植物園」がR7に認定
積水樹脂(株)	「滋賀工場」「物流センター」の生物多様性保全エリアがR5,R7に認定
ダイキン工業(株)滋賀製作所	「滋賀の森」がR6に認定
(株)ダイフク滋賀事業所	「結いの森」がR6に認定
パナソニック(株)草津拠点	「共存の森」がR5,R7に認定
龍谷大学	「龍谷の森」がR5,R7に認定

加点点目 2 : 自然共生サイト



認証事業者の取組



「もりビオ」
旭化成(株)守山製造所



「油日植物園」
塩野義製薬(株)



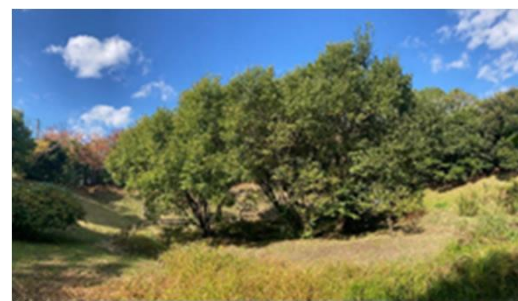
「物流センター 生物多様性保全エリア」 「滋賀工場 生物多様性保全エリア」
積水樹脂(株)



「ダイキン滋賀の森」
ダイキン工業(株)滋賀製作所



「結いの森」
(株)ダイフク滋賀事業所



「共存の森」
パナソニック(株)草津拠点



「龍谷の森」
龍谷大学

加算項目3：SBTi認定

概要

SBT(SCIENCE BASED TARGETS)とはパリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことです。SBTi(SBTイニシアチブ)は企業が設定した目標が科学的に妥当であるかを審査し、適合する場合にSBT認証を付与します。



○の数字はScope 3 のカテゴリ

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

出展)環境省ホームページ

チェック基準

企業としてSBT認定を取得し、事業所等においてもSBTの趣旨を理解し、取り組んでいるか。

認証事業者

事業者名	事業者名
イオンモール(株)イオンモール草津	塩野義製薬(株)油日植物園
(株)SCREENホールディングス	住友電工プリントサーキット(株)
ダイキン工業(株)滋賀製作所	(株)ダイフク滋賀事業所
TOPPAN(株)エレクトロニクス事業本部滋賀工場	法面プロテクト(株)
(株)長谷工あんしんデリ	パナソニック(株)草津拠点
(株)村田製作所八日市事業所	

加点点目 4 : 保護増殖事業

概要

滋賀県が条例で指定する指定希少野生動植物種の繁殖の促進や生息地の保全等を適正かつ効果的に行うため「保護増殖指針」を策定しています。県以外が行う、保護増殖指針に沿った保全の取組を「保護増殖事業」として県が認定しています。また琵琶湖博物館の保護増殖センターでは、希少種保護の取組として、生息域外保全等に取り組んでおり、その取組を支援する「琵琶博サポーター」を募集しています。



保護増殖センター

写真提供: 琵琶湖博物館

チェック基準

県が策定する指定希少野生動植物種の保護指針に基づく、**保護増殖事業の認定**を受けているか。あるいは、琵琶湖博物館が実施する希少種の保護増殖事業へのをしているか。
※支援については、**保護増殖センターへ支援**していることがわかるものに限りチェック可とする。

認証事業者の取組

事業者名	取組の概要
旭化成(株)守山製造所	ハリヨの飼育繁殖による生息域外保全に取り組み、県から指定希少野生動植物種・保護増殖事業の認定を受けている
(株)ダイフク滋賀事業所	琵琶湖博物館の保護増殖センターへ金銭的支援をしている

加点点目6：琵琶湖森林づくりパートナー協定



概要

滋賀県「琵琶湖森林づくり条例」に基づき、企業・団体が森林所有者と協定を結び、森林整備を支援・実施する仕組みです。森林づくりは、森林所有者の方々だけでなく、県民の皆さんとの協働により進めていくことが大切で、社会貢献活動等に熱心な企業と森林所有者が協定を締結し、人的、金銭的な支援を得て森林整備・保全活動を推進しています。



出展)滋賀県森林政策課

チェック基準

琵琶湖森林づくりパートナー協定に基づき、**人的または金銭的な支援**を行っているか。または、県内の森林所有者が発行する**J-クレジット**を購入し、支援しているか。

認証事業者の取組

事業者名	取組の概要	取組時期
近畿環境保全(株)	金勝生産森林組合と協定締結	R7.3～(10年間)
(株)湖南リサイクルセンター	三雲生産森林組合と協定締結	R5.6～(5年間)
(株)昭建	J-クレジット(金勝生産森林組合)の購入	R1.11購入
生活協同組合コープしが	油日・上野共有生産森林組合、大滝山林組合と協定締結	H25.10～(15年間) R6.10～(10年間)
積水樹脂(株)	綿向生産森林組合と協定締結	H22.11～R2.10
トヨタ紡織滋賀(株)	土山山林財産区管理会と協定締結	H23.1～(20年間)
日本観光開発(株)	東寺生産森林組合と協定締結	H22.12～R7.11

※取組時期の期間には、協定期間の延長分を含みます。

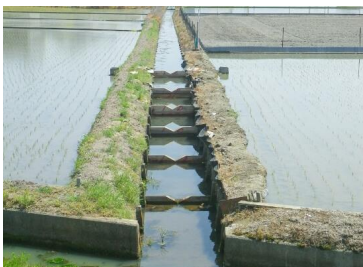
参考URL：<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shinrinhozen/309701.html>

加点点目7：世界農業遺産（琵琶湖システム）



概要

琵琶湖を中心とした、人、生きもの、自然が共存する持続的な農林水産業(琵琶湖と共生する農林水産業)を「森・里・湖(うみ)に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」と呼んでおり、令和4年7月18日に「世界農業遺産」に認定されました。



出展)滋賀県農村振興課

参考URL:<https://www.pref.shiga.lg.jp/biwako-system/>

チェック基準

世界農業遺産(琵琶湖システム)の取組に賛同し、「魚のゆりかご水田米認証」の認証を受けているか。あるいは、世界農業遺産の取組に対し、**人的または金銭的な支援**など、具体的な取組を実施しているか。

認証事業者の取組

事業者名	取組の概要
生活協同組合コープしが	「広域たかしま知内」と連携し、魚道設置や生きもの観察会を実施
長谷工あんしんデリ	立命館大学と連携協定を締結し、農産物生産における琵琶湖システムの振興に取組
龍谷大学	琵琶湖博物館と連携し、「琵琶湖システム」の魅力向上のためのルートマップを作成 学生が「せせらぎの郷 須原」で魚のゆりかご水田プロジェクトを体験

加点項目 8 : マザーレイクゴールズ (MLGs)



概要

MLGsとは、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会への目標(ゴール)であり、「琵琶湖版のSDGs」です。MLGsは、琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定しています。



ヨシ刈り
湖岸清掃
環境配慮工法
イベント実施
環境金融の取組
など

チェック基準

マザーレイクゴールズ(MLGs)の取組に賛同し、琵琶湖の保全に関連する**具体的な行動を実施**しているか。

認証事業者

事業者名

イオンモール(株)イオンモール草津	(公財)淡海環境保全財団
近畿環境保全(株)	郷インテックス(株)
(株)湖南リサイクルセンター	三和産業(株)
JNCファイバース(株)守山工場	(株)滋賀銀行
(株)昭建	積水樹脂(株)滋賀工場
ダイキン工業(株)滋賀製作所	ダイキンレクザム エレクトロニクス(株)
ダイハツインフィニアース(株) 守山事業所	タカラバイオ(株)
東レ・プレジジョン(株)	トヨタ紡織滋賀(株)
法面プロテクト(株)	パナソニック(株)草津拠点
琵琶湖汽船(株)	(株)村田製作所八日市事業所
龍谷大学	

参考URL : <https://mlgs.shiga.jp/>

加点項目9：しがCO₂ネットゼロムーブメント



概要

滋賀県では2050年のCO₂ネットゼロ社会の実現に向けて、しがCO₂ネットゼロムーブメントを推進しています。この取組の一環として、CO₂ネットゼロ社会づくりに関する優れた取組を行った県民、事業者および団体の功績を称え、取組の水辺展開を図るための表彰制度として「しがCO₂ネットゼロみらい賞」を実施しています。

【先進導入・実践部門】

事業活動において先進的な設備の導入や創意工夫を凝らした省エネの実践等によりCO₂の排出を削減する取組

【製品・サービス部門】

社会全体のCO₂排出量削減に貢献する県内初の製品・サービス等の開発

【地域づくり部門】

CO₂ネットゼロ社会づくりを推進するための、個人、団体などが行う環境学習・普及啓発等の取組を表彰

チェック基準

しがCO₂ネットゼロムーブメントに**賛同**し、「しがCO₂ネットゼロみらい賞」等に**応募**した実績があるか。

認証事業者

事業者名	取組の概要
三和産業(株)	「技術部門」に応募 CO ₂ 吸収型コンクリートの開発に取り組む
新旭電子工業(株)	「先進導入・実践部門」に応募し受賞 製造ラインにおける新規工法の導入で省エネ・省力化を実現
トヨタ紡織滋賀(株)	「地域づくり部門」に応募 全従業員参加の環境道場を運用
龍谷大学	滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携し、プラスチックアメニティを減らす取組として「製品・サービス部門」の受賞に貢献

参考URL:<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/318133.html>
<https://mlgs.shiga.jp/https://zeronavi.shiga.jp/netzero-action/award/netzero-award/>

加点項目10：しがプラスチックチャレンジプロジェクト、三方よし!!でフードエコ・プロジェクト



概要

滋賀県では、プラスチックごみが及ぼす幅広い課題に対応するため、県民の皆さんに対し、ライフスタイルを見直し、プラスチック代替製品の利用等、プラスチックごみ削減に向けた実践行動のチャレンジを後押しする「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」を展開しています。

また、食品ロスを減らすために、様々な立場の関係者が連携して取組推進を図る「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」の取組を展開し、食品ロス削減に取り組む飲食店、宿泊施設および食料品小売店を「三方よしフードエコ推奨店」として認証しています。

チェック基準

しがプラスチックごみ削減行動宣言を実施しているか、または三方よしフードエコ推奨店の登録を受けているか。

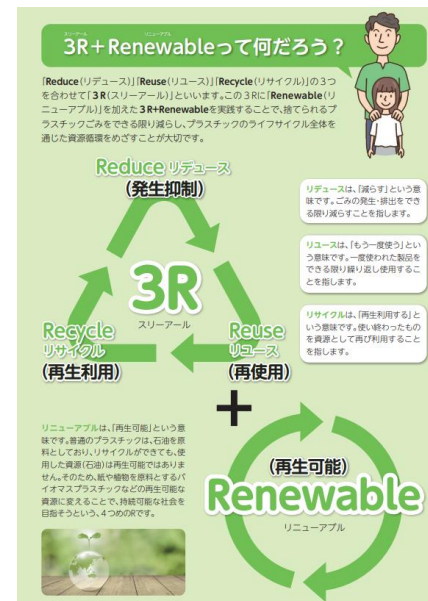
認証事業者

事業者名

取組の概要

生活協同組合
コープしが

「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」の趣旨に賛同し、割引販売、フードドライブ、野菜くずのたい肥化、水産物アラ回収に取り組んでいる。



参考URL:<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/haikibutsu/331073.html>
<https://shigaquo.jp/foodeco/>

出展)循環社会推進課